

# 富山市中心市街地地区

(二期)

(富山県富山市)

- 計画期間 平成21年度～平成27年度
- 面積 650ha
- 交付対象事業費 14,238.0百万円
- 市人口 410,214人

**ポイント** 魅力と活力を創出する富山市の「顔」にふさわしい中心市街地の形成

**地区概要** 公共交通の利便性向上、賑わい拠点の創出、まちなか居住の推進にて、中心市街地の活性化を図る。

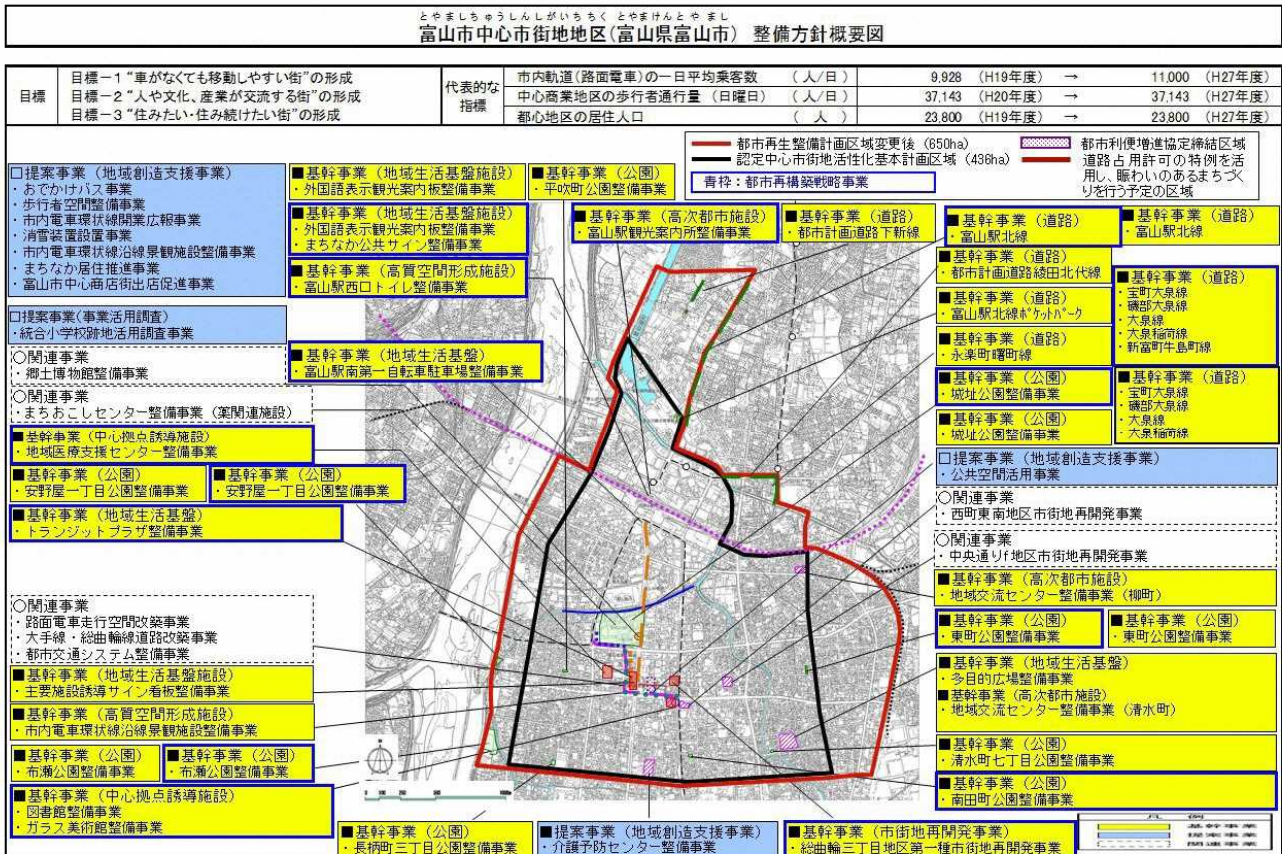
- 目標**
- “車がなくても移動しやすい街”の形成
  - “人や文化、産業が交流する街”の形成
  - “住みたい・住み続けたい街”の形成

**指標** 前計画（1期計画）での目標達成状況等を基に指標を設定した。

市内軌道の一平均乗客数(人/日)	9,928(H19) → 11,000(H27)
中心商業地区の歩行者通行量(人/日)	37,143(H20) → 37,143(H27)
都心地区の居住人口(人)	23,800(H19年度) → 23,800(H27年度)

**事業内容** 基幹事業 (12,423.8百万円) → 富山駅北線 (W=4.5m～26.5m、L≒7.8km) 他7線、城址公園(7.4ha)他7箇所、外国語表示観光案内板整備、市内電車環状線沿線景観施設整備、地域交流センター整備 (2箇所)、中心拠点誘導施設整備等

提案事業 (1,814.2百万円) → 歩行者空間整備、おでかけバス事業、消雪装置設置事業、公共空間活用事業、介護予防センター整備事業、統合小学校跡地活用調査事業 等



完了地区 富山県

## 地区の現況と課題

中心市街地は、平成19年にグランドプラザや総曲輪フェリオが開業したことにより、一定程度の賑わいは回復されたが、その効果は面的な広がりを見せるには至っていない。

また、中心市街地地区では、小売金額も著しく減少しており、今後は各商店街や再開発事業等と連携を図りながら、中心市街地を再生させることが喫緊の課題となっている。



中心商店街の現状

## 提案事業の特徴

### おでかけバス事業

65歳以上の高齢者に「おでかけ定期券」を発行し、中心市街地への乗車料金を市内のどのバス停からでも1回100円とする。

### 公共空間活用事業

グランドプラザにおいてイベント等を開催し、まちなかの継続的な賑わいを創出する。

### 介護予防センター整備事業

市民が高齢期を迎える前から健康づくりに取り組み、地域で末永く暮らせるように介護予防センターを整備する。

### 統合小学校跡地活用調査事業

統合小学校の跡地について、中心市街地活性化を視野に入れた有効的な活用方を調査・検討する。



公共空間活用事業（グランドプラザ）



城址公園

## 計画策定プロセス

### まちづくり交付金 関係課長会議の開催

まちづくり交付金を活用した事業を実施している企画管理・商工労働・農林水産・都市整備・建設・教育部局等の各課長で構成した庁内会議を開催し、現行計画の効果等を把握すると共に、次期計画の策定に向けた検討を行った。

### パブリックコメントによる意見の集約

パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施し、計画内容等について広く市民の意見を求め、計画に反映させた。



### おでかけバス事業

65歳以上の高齢者に「おでかけ定期券」を発行し、中心市街地への乗車料金を市内のどのバス停からでも1回100円とする